

JAPANESE RED CROSS ISE HOSPITAL

NURSE RECRUITING GUIDE



JAPANESE RED CROSS
ISE HOSPITAL
NURSE RECRUITING GUIDE



採用についてくわしくはコチラ



伊勢赤十字病院 看護師採用サイト
<https://www.ise-nurse.info/>

伊勢赤十字病院

〒516-8512 三重県伊勢市船江1丁目471番2 TEL.0596-28-2171 FAX.0596-28-2965 <http://www.ise.jrc.or.jp/>

 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
Japanese Red Cross Society

結ぶ人に。

伊勢赤十字病院は、1904年に日本赤十字社最初の支部病院として設立。

100年を越える歴史の中で、赤十字の使命・想いを結び、
地域の医療に貢献してきました。

働く仲間同士を結び、チームとして最善の医療を提供していく。

患者さんを苦しみや痛みのないものとの生活へと結んでいく。

そんな想いを胸に、私たちはこれからも人道にもとづいた
質の高い医療を提供していきます。

そして、人として、看護師として、輝く未来へとあなたを結んでいきます。

伊勢赤十字病院 看護部 ビジョン

一人ひとりを大切に、
その人の「よりよく生きる」を支える看護を実践します。

求める人物像

1. 患者、家族の視点で考え方行動できる人
2. チームで協働できる人
3. 自ら学ぶ人





7 結ぶ人を育てる 伊勢赤十字病院 つの特長

伊勢赤十字病院には、職員全員が最高の力を発揮し、安心して働くために必要な施設・設備や制度が整っています。



手厚い教育システム・新人研修。

チーム全員で新人看護師を支えています。仕事にも慣れ、心身ともに余裕が生まれてくるであろう3年目まで着実にステップアップできるプログラムを準備。仲間とともに看護について語り合うことを大切にしています。

くわしくはP10-12へ



赤十字病院のネットワーク。

日本赤十字社は全国に91の病院を運営。その幅広いネットワークを活かし、合同研修会や災害救護活動などをを行っています。同じ使命をもつ仲間として、ともに支え合う組織です。



01

くわしくはP6へ



02

スタッフの仲がいい。

それぞれの専門職が集まり、チームとして最善の医療を提供するためのカギとなるのが普段からのコミュニケーション。オンでもオフでも「おかげさま」や「ありがとう」が飛び交う職場です。

くわしくはP8へ



03

くわしくはP8へ

04



めざせる幅広いキャリア。

救急医療・災害医療・フライトナースや専門・認定看護師といったスペシャリスト、何にでも対応できるジェネラリストなど、各自がめざすさまざまなキャリアに向けてしっかり支援します。



“働き続ける”を支援する制度。

2016年に「女性が働きやすい医療機関」の認証を取得。看護の仕事を安心して長く続けるために、24時間体制の院内保育所の設置や妊娠・育児中の方に配慮した勤務体制でサポートしています。

くわしくはP15へ



06

くわしくはP15へ

Message



日々懸命に看護と向き合うスタッフの姿は、私にとっての「誇り」です。

伊勢赤十字病院の魅力は、職員一人ひとりが日々の仕事のなかで、自分のやるべきこと、やれることをしっかりと果たし、いざというときにはさらに回結し、課題を成し遂げるというチームワークのよさです。

スタッフは急性期医療の多忙な現場で、日々懸命に看護に向き合っています。そんななかで、患者さんやご家族からの感謝のことばは看護職にとって何よりの励みになっています。患者さんやご家族お一人お一人を大切に思い看護しているスタッフの姿は私の「誇り」でもありますが、地域や病院の「価値」でもあるといえます。伊勢赤十字病院の看護を創るスタッフ一人ひとりの力が發揮できるよう働きやすい職場をつくり、キャリアアップのできるしくみで支援をしていきたいと思います。

看護部長 松本ゆかり YUKARI MATSUMOTO

働く人にもやさしい病院づくり。

くわしくはP14へ

休憩やミーティングなど、多目的に使用できる開放感あるオープンカンファレンス。見晴らしのいいロケーションでホッとひと息つける職員専用のカフェなど、働きやすさを追求したさまざまな工夫がいっぱいの病院です。



05



07

さまざまな職員交流イベント。

伊勢赤十字病院には、さまざまな部活動・同好会活動があります。また、全国の赤十字病院が参加するスポーツ大会や、職員同士の親睦を深めるための旅行や院内運動会、いちご狩りなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。

くわしくはP18へ

思いを結ぶ

赤十字で働くということ。

150年前の戦場に芽生えた赤十字の思想は、世界191カ国・地域に広がり、人の苦しみ・痛みに手を差し伸べるさまざまな活動のなかに生きています。「苦しんでいる人を救いたい」という「人道」の精神が、私たちのすべての仕事の根底にあるのです。

私たちは、国籍・人種・宗教の壁を越えて、すべての人のいのちと健康、尊厳を守ります。

赤十字の基本原則

- 人道** 人間のいのちと健康、尊厳を守るために、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平** いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立** すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立** 国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕** 利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 單一** 国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性** 世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、力を合わせて行動します。

赤十字病院が提供する3つの社会貢献活動

01 「いのちと健康、尊厳を守り続ける」質の高い医療を提供。

日本赤十字社は、全国で91の病院を持っており、グループのスケールメリットを活かした人事交流システム、研修制度などで質の高い医療を担保しています。また、地域の中核病院として、地域に根ざした医療の提供とともに、災害時には救護活動にあたるなど、さまざまな活動を通じて社会に貢献しています。



日本赤十字社本社(東京都港区)

02 万が一の災害発生時にも迅速な救護活動を展開。

災害が発生すると、ただちに救護班(1班あたり対応ユニット)を派遣し、救護所の設置や被災者を行います。



dERU(仮設診療所)

大規模災害発生後、一刻も早く被災地における診療を開始することを目的として、dERU(仮設診療所)を整備しています。



日赤救護班・DMAT

災害の急性期(48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームです。



こころのケア

日本赤十字社は、災害時の「こころのケア」を災害救護活動の重要な柱のひとつと位置づけ活動を実施しています。



03 191カ国に広がる赤十字のネットワークを活かした国際医療救援活動を実施。

地域社会や人々の回復力(レジリエンス)の強化をめざし、被災者への医療や衣食住の支援といった緊急救援や、その後の復興支援、長期的な開発協力という流れで包括的な国際救援活動を取り組んでいます。





絆を結ぶ

スタッフの仲のよさが 医療の質を高める チーム医療

患者さんにとってよりよい医療を提供するため、専門性を活かしたチーム医療を実践しています。チーム医療の実践には良好な人間関係が欠かせません。そのため、お互いの関係性を深められるよう、さまざまな場面でスタッフが交流できる工夫があります。

良好な人間関係を築くための取り組み

◎円滑なコミュニケーションを生む施設・設備

オープンカンファレンスや職員食堂など、すべての職員が気軽に声をかけ合えるような風土を生むため、施設・設備面でも工夫があります。また、職員と患者さんの動線を分けるなど、スタッフのストレスを軽減する取り組みも。



◎人間関係を育む研修

チーム医療の要は関係性です。そのため入職時研修やコミュニケーション研修など、お互いの理解を深める多職種での研修を行っています。



職種・施設を超えた研修や活動

地域の医療従事者とともに研修、地域関係機関との災害訓練、病院全体で取り組むTQM活動などでお互いの関係性を深めています。



いつも一番のミカタで いよう。

現在私は、入職して8年目。これまでに新人看護師に対して精神的なフォローを行うメンターや、看護技術・知識を実際に指導する実地指導者といった新人看護師の教育担当を経験してきました。そして、昨年から部署全体の教育担当者に。病院全体の教育方針にもとづき、自分の部署でどういった取り組みを行うなどを考案・計画。メンターと実地指導者へのアドバイスや教育なども行っています。私の部署では、全員で新人看護師を大切に育てていこうという雰囲気があります。これは、みんなが新人のときに愛情いっぱいに親身に指導してもらった経験があり、自分がしてもらったのと同じようにたくさんのこと教えてあげたいという想いがあるからではないかと思います。実際の業務は、日々忙しく大変なことも多いのですが、それ以上に大きなやりがいも。たとえば、看護師のかける言葉や提供する技術などによって、患者さんの苦しみや痛みをやわらげることができる。また、患者さんだけではなく、そのご家族とも相談しながら患者さんの回復のために援助を行い、それを実現する。そんなところに看護という仕事のすばらしさ・やりがいを感じています。教育担当者として、看護師として、患者さん・スタッフのどちらに対しても、いつも一番のミカタでいようという気持ちで接することをこころがけ、日々の業務に励んでいきたいと思っています。

呼吸器内科・感染症内科・リウマチ膠原病内科病棟
落合綾 AYA OCHIAI | 2011年入職／三重県伊勢市出身



INTERVIEW 02



患者さんから頼りにされる 看護師をめざして。

子どものころテレビで見た看護師さんの姿にあこがれてこの世界に。また、私の家系に糖尿病を患っている人が多いこともあり、今の病棟を志望しました。糖尿病は食事制限をしたり、インスリン注射を自分で打つなど、患者さん自身が血糖管理をしなければいけないこともあります。一人ひとりに合った看護ケアを行うとともに、退院後も継続して自分で血糖管理ができるように指導も行います。患者さんのなかには、我慢できずに隠れて間食や喫煙をしてしまう方もいるのですが、そんな方に対しては、看護師同士はもちろん、医師などとも相談して今後どう指導していくかを決めていきます。もちろん治療は大切ですが、間食を楽しみにこれまで過ごしてきたなど、患者さんの生活もあるので、何をどこまで制限してもらうかのバランスは難しいところです。治療方針を決定するのは医師ですが、患者さんの性格や日々の様子といった観点から、医師にアドバイスすることも看護師の大切な役割だと感じています。

また、これらの業務に加え、今年から新人看護師のメンターを担当。仕事での悩みや、困っていることはないかななど、新人看護師のメンタル面のサポートも行っています。

まだまだわからないこともたくさんありますが、将来糖尿病のエキスパートになれるよう、まずは「糖尿病療養指導士」と「糖尿病認定看護師」の2つの資格取得をめざして日々の業務や勉強に励んでいきたいです。

一般内科・糖尿病・代謝内科病棟
西川奈那 NANA NISHIKAWA | 2017年入職／三重県大台町出身

未来へ結ぶ

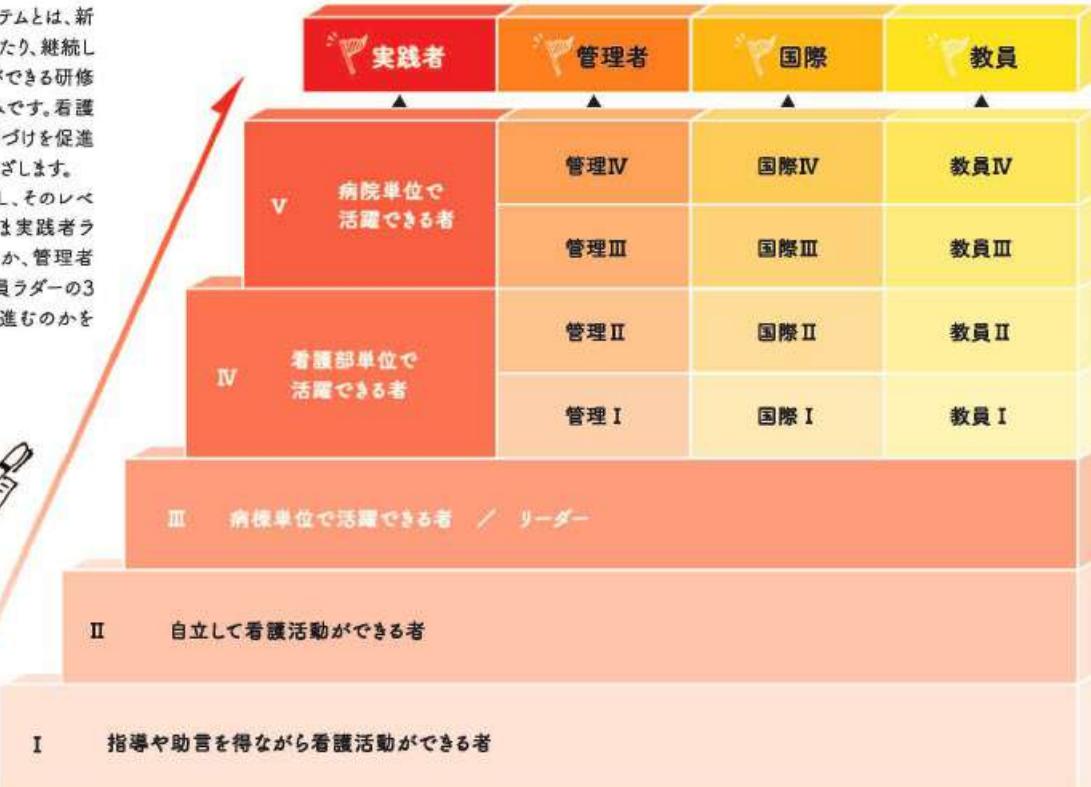
教育制度

伊勢赤十字病院には、一人ひとりの夢を実現するためのさまざまな教育制度があります。将来めざせるキャリアも幅広く、看護師としての可能性を広げることができます。



赤十字施設のキャリア開発ラダーシステム

キャリア開発ラダーシステムとは、新人の時期から生涯にわたり、継続して自己研鑽を積むことができる研修支援体制を含む仕組みです。看護師の能力開発への動機づけを促進し、看護の質の向上をめざします。実践者ラダーを基盤とし、そのレベルがⅢになると、そのまま実践者ラダーのキャリアを進むのか、管理者ラダー・国際ラダー・教員ラダーの3つのキャリアをめざして進むのかを選択します。



Message

研修センターは、人づくり・環境づくりをとおして、よりよい医療の提供をめざします。

よりよい医療の提供のためには、病院で働く職員の良好な人間関係がもっとも大切であるという考え方のもと、人づくりや環境づくりなどのさまざまな研修を実施しています。たとえば、患者さんの治療について医師・看護師・薬剤師などが集まって話し合いをするとき、それぞれが自分の立場からの意見を主張するだけでは、その患者さんにとってベストな医療を提供することが難しいことがあります。しかし、普段からコミュニケーションがとれており、それぞれの考え方や想いなどを知っていれば、よりよい意思決定ができ、「患者さんを救う」というゴールに向かって全員で進んでいくと考えています。そういった



研修センター長・看護副部長 石谷 操 MISAO ISHITANI

めざせるキャリア

国際救援

自然災害などによって被害を受けた国の人々、紛争や灾害、感染症の流行といった人道危機による被災者に対し、緊急時の救援や復興支援、予防活動など、人々の命を守るために活動を世界中で展開しています。



災害救護

災害は人間が一つひとつ積み上げてきた日々の暮らしを一瞬で奪い去ります。しかし、「人間には必ず復帰できる力がある」という言葉を信じ、赤十字救護班は災害現場での医療およびこころのケア活動を行っています。



スペシャリスト

(専門看護師、認定看護師、特定行為看護師、フライターナースなど)

伊勢赤十字病院では専門看護師やフライターナースなど、さまざまなスペシャリストが活躍しています。臨床経験を積み、専門的な知識や技術を学ぶことでその道に進むことも可能。また、スペシャリストになるための支援もあります。



ジェネラリスト

その場その場に応じた実践ができるジェネラリスト。さまざまな経験と継続した学習によってその力は培われていきます。スペシャリストとともに大切な役割を果たしています。



大学院への進学

働きながら大学院で学ぶ人が増えています。実践と理論を統合し、臨床現場の看護の質向上に寄与しています。



教育制度・キャリア開発Q&A

Q 将来、救急系で働きたいのですがどうすればいいですか？

A 救急医療や災害医療に興味がある人は、その分野に強い病院を選ぶのが一番です。救急医療の現場は、「かっこいい」や「あこがれ」といったイメージがありますが、実際には高度な実践能力が求められます。当院は身近にモデルとなる看護師がいることで、自分のキャリアを現実的に考えることができます。しかし、救急をめざすからといって、新人からいきなりは難しいので、まずは一般病棟でしっかり基礎力を身につけ、看護師としての土台づくりをすることが必要です。

Q どんな人がサポートしてくれるの？

A 一番近い存在で、よき理解者であるメンター役の先輩看護師をはじめ、実地指導者・教育担当者・チームメンバーなど、みんなが常に声をかけ、見守ってくれます。「新人はみんなで育てる」そんな風土が根づいているので、安心して働ける職場です。また、部署のスタッフだけでなく、医師や看護部・事務の方々やメディカルスタッフの方々が気軽に声をかけてくれます。そして何より心強いのは、お互いの気持ちがわかる同期が多いこと。メンタルサポートシステムも充実しています。



学びを結ぶ

新人看護師の1年

新人看護職員研修は、配属部署での研修が中心となります。

看護師としての基本的な知識・技術・態度をしっかりと身につけられるよう、質の高い実践と知識の統合ができる研修体制を取り入れ、個々の成長に合わせてしっかり支援していきます。



おもな研修内容

まずはここから

新人研修

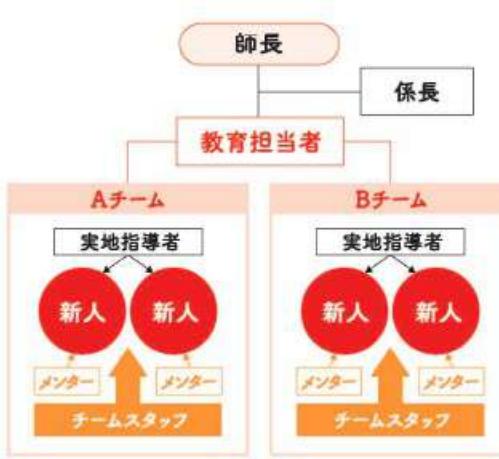
赤十字の理念とリフレクションを基盤とした看護実践能力を身につけ、専門職として生涯にわたって自己研鑽を続けていくことをめざしています。

同期との交流・情報交換の場

集合研修

伊勢赤十字病院の職員として自覚と誇りを持った行動をとるための基本的知識を習得。同期とのコミュニケーションの場にもなっています。

部署における新人教育体制



Voice

子どものころからあこがれていた
いつも笑顔の看護師をめざして。

子どものころ入院したときに、いつもそばにいてくれた看護師さんにあこがれてこの世界に進みました。今はまだ日々の業務に慣れることで精一杯ですが、できるだけ患者さんの立場に立った看護ができるようこころがけています。どんなときでも笑顔を忘れず対応できる看護師をめざしたいですね。



須川結里 TURI SUGAWA | 2019年入職／三重県桑野市出身



先輩方はみんなやさしく、いろんなことをていねいに教えてくれます。

大きな病院でさまざまな経験を積みたいと思っていたので伊勢赤十字病院に入職しました。病院がきれいで、新人教育に力を入れていることも就職を決めた理由のひとつですね。1日でも早く先輩方のような看護師になれるよう、日々たくさんのこと学んでいきたいと思っています。

磯田朋里 TOMORI ISODA | 2019年入職／三重県明和町出身



磯田朋里

TOMORI ISODA | 2019年入職／三重県明和町出身

新人研修は、配属された部署でのOJTを中心に、1か月に1回程度の集合研修、秋ごろに関連した部署でのローテーション研修(3日間)を行います。

4月 April

- 入職時オリエンテーション
- 入職時研修 ○静脈注射演習
- 職場オリエンテーション



5月 May

- 看護過程・看護診断の基礎知識
- 日勤業務 ○ナースエイド研修
- フィジカルアセスメント
- 電子カルテの取り扱い ○看護記録



6月 June

- 急変時の看護(BLS) ○看護倫理
- 夜勤研修(見学・指導者付き実施)

7月 July

- ストレスマネジメント ○夜勤独り立ち

8月 August

- キャリアについて考える

9月 September

- 看護倫理



10月 October

- 看護部組織論
- ローテーション研修(3日間)

11月 November

- 医療事故防止

12月 December

- 組織における仕事の進め方



1月 January

- 防災訓練

2月 February

- ナラティブ ○新人研修振り返り
- 看護過程の事例まとめ・発表

3月 March

- 新人看護職員研修了式

職場環境

スタッフのストレスを軽減するために、職員と患者さんの動線を分けるなど、リラックスできる空間をつくりました。また、すべての職員が気軽に声をかけ合える、そんな風土を生むための工夫がいっぱいです。



良質な人間関係が医療の質を高める オープン カンファレンス

カンファレンスや勉強会、休憩など、誰もが自由に使える大空間で、多職種の交流の場になっています。

オンとオフのメリハリをつける

職員専用レストラン／カフェ



朝食～夕食まで職員の食生活を支えます。ランチタイムにはさまざまな職種のスタッフが集い、会話が弾みます。

よりよい看護の提供は健康から

フィットネスルーム



本格的なフィットネスマシンでスタッフの健康づくりを応援しています。いつでも自由に利用することができます。

Voice

充実した施設・設備や人のあたたかさなど、とても働きやすい環境です。



部活動など、
部署を越えた交流が、
仕事のしやすさに
つながっています。

昨年から救急病棟で勤務しています。救急病棟は、さまざまなケガ・疾患の患者さんが入院しているので勉強しなければいけないことも多く大変ですが、患者さんが一番不安であろう入院の最初の部分に関わることにとてもやりがいを感じています。伊勢赤十字病院は、建物自体が新しくきれいなことはもちろん、施設・設備も充実しています。患者さんが入ることができないスタッフ専用エリアが設けられているので、休憩なども取りやすく、メリハリある働き方ができるところがとても気に入っています。また、人の生活の最初の部分はこの病院の魅力。お互いのことをちゃんと気遣えるなど、部署を越えてみんなの仲がよく、働きやすい環境だと感じています。

救命救急センター救急病棟 中西佐和子 SAWAKO NAKANISHI | 2014年入職 / 三重県多気町出身

働き続けられる職場づくり

出産後も安心して長く働けるよう、さまざまなサポート体制を整えています。

☑ 24時間院内保育所が利用できる

パパやママが安心して働けるために、多様なニーズに応えるサービスに取り組んでいます。



☑ レディースルームを完備

授乳に使ったり、体調がすぐれないときに休んだり、女性への細やかな配慮も行き届いています。

☑ 子育て支援窓口の開設

子育てをしながら働くなかでの困りごとなど、ひとり抱え込まずに相談できる仕組みをつくりました。困りごとの解決などに向け、可能な限りサポートしたいと考えています。

☑ 「女性が働きやすい医療機関」認証

認証取得後も働く女性の声を聞き、より働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



Q. 男性看護師って何人?
1つの病棟に何人くらいいるの?

A. 約60名です。1部署に2名以上いて、多いところでは8名くらいいます。

☑ 産休・育休後の職場復帰支援

職場復帰者研修や電子カルテの操作演習など、サポート体制を整え、職場復帰への不安を軽減します。



Q. 将来のキャリアはどう考えている?

A. フライトナースになりたいし、国際救援にも行ってみたい。伊勢赤十字病院は、キャリアについてたくさんの選択肢があるので、まずはいろいろな経験を積みたいですね。



救命救急センター救急外来
紀平峻佑
SHUNSUKE KIHARA

2014年入職
愛知県名古屋市出身

Q. 伊勢赤十字病院に就職してよかったです感じることは?

A. 職員専用のジムやテニスコートがあって、リフレッシュできるところですね。職員に対してもいろいろな配慮がされているなど感じます。また、教育や研修が充実していることや、男性看護師がほかの病院に比べて多いこともよかったです。



Q. 男性看護師ならではの強みを感じることは?

A. 特に男性の患者さんに対して、男性ならではの目線というのがあると思うので、それを活かした介助や、女性には言いにくいことを話してもらいたりすることですね。

伊勢赤十字病院 周辺マップ



伊勢赤十字病院で働く

看護師さんに聞いてみました!

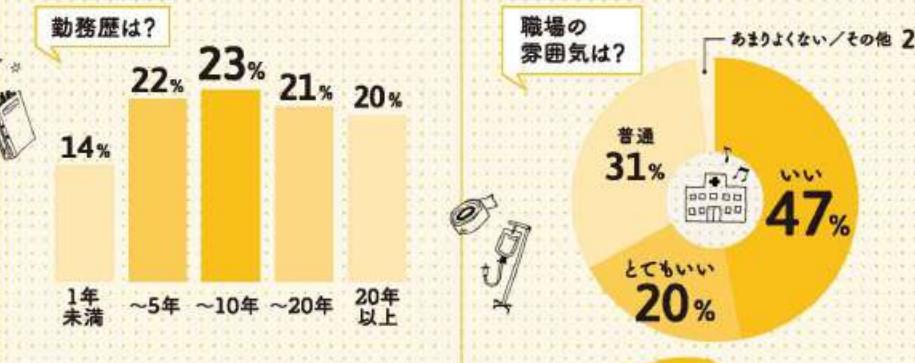
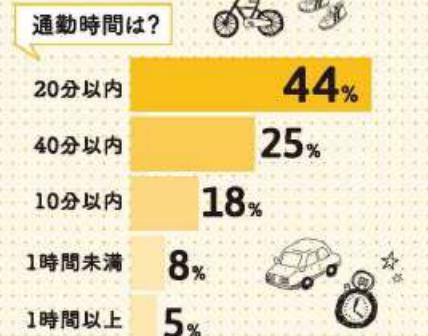
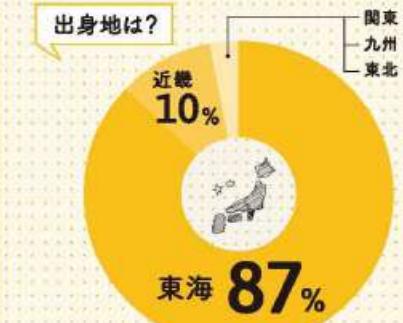
伊勢赤十字病院ではどんな人が働いているのか。
実際に働く看護師さんに、アンケートに答えてもらいました！

看護師数
808名
(内准看護師:1名)

平均年齢
34.6才

男女比
男性 **7.4%**
女性 **92.6%**

出身地は?
近畿 10%
東海 87%
関東 1%
九州 1%
東北 1%



伊勢赤十字病院のここがいい！

思いやりがある
助け合いの精神

団結力！

地域に信頼
されているところ

まわりの人の
温かさ

教育が充実している

他部門含め、
スタッフ同士の
仲が良い

多くの科があり、
さまざまな経験が積める

看護師の
育成

設備が整っている、
診療科が充実
している

働きがいがある

赤十字の理念に
共感したから

伊勢赤十字病院を選んだ決め手は？



*アンケート結果は、2018年10月1日現在のものです。

出身校一覧

【三重県内大学】三重県立看護大学、三重大学医学部看護学科、四日市看護医療大学、鈴鹿医療科学大学

【三重県内専門学校】伊勢保健衛生専門学校、松阪看護専門学校、三重中央看護学校、三重看護専門学校、津看護専門学校、聖十字看護専門学校、名張市立看護専門学校、岡波看護専門学校、三重県立桑名高等学校衛生看護専攻科、ユマニテク看護助産専門学校、四日市医師会看護専門学校

【県外大学】日本赤十字豊田看護大学、日本赤十字看護大学、日本赤十字北海道看護大学、愛知医科大学、藤田保健衛生大学、堀山女学園大学、名古屋市立大学、豊橋創造大学、岐阜大学、岐阜医療科学大学、中京学院大学、聖隸クリストファー大学、浜松医科大学、山梨県立大学、福井県立大学、新潟大学、兵庫県立看護大学、甲南女子大学、園田学園女子大学、大阪医科大学、太成学院大学、関西看護医療大学、広島大学、徳島大学、愛知きわみ看護短期大学、岐阜保健短期大学、聖泉大学、自治医科大学、藍野大学、日本福祉大学、日本保健医療大学

【県外専門学校】名古屋医専看護保健学科、京都桂看護専門学校、奈良文化高等学校衛生看護専攻科、名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校、大阪暁光高等学校看護専攻科

職員交流イベント

職員旅行

職員なら誰でも参加できる職員旅行。往帰りと1泊の2コースがあり、コース料理などを楽しんだり、有名温泉旅館に宿泊＆観光地巡り、テーマパークで1日遊びまわるなど、毎年工夫を凝らしたさまざまな旅行企画から希望するものに参加できます。



旅行、運動会、映画鑑賞など、さまざまなイベントがあるのも伊勢赤十字病院の魅力のひとつ。
絆はOFFの活動からも育まれます。



バレーボール大会

部門や部署対抗で行うバレーボール大会。看護部門は各部署に関係する他職種の方もメンバーに引き入れ、豪華賞品めざして必死に優勝を狙います。さまざまな工夫を凝らしたコスチュームも見どころのひとつ。1日中笑いの絶えない大会です。

その他の職員交流イベント

- 映画鑑賞
- イチゴ狩り
- ドッジボール大会
- ボーリング大会
- など

部活動紹介

学生時代にやっていたスポーツを続けたい！スポーツで日ごろのストレスを発散したい！多職種の人と仕事以外での交流を楽しみたい！そんな仲間が集まって、バスケット・野球・卓球・テニス・フットサル・駅伝などの部活動を行っています。全国赤十字病院スポーツ大会での優勝をめざし、本格的に取り組んでいるチームもあります。



SNAPSHOTS OF JAPANESE RED CROSS ISE HOSPITAL

伊勢赤十字病院の仲間たち！

「苦しんでいる人を救いたい」という思いをもって集まった仲間たち。人を大切に思うところを行動に、どんな場面でもいつでもだれでも助け合える。そんな仲間意識の高いスタッフたちが“チーム伊勢日赤”をつくっています。

病院長からのメッセージ

患者さんやご家族には希望と満足を、地域の方々には期待と安心を、そして医療者には働きやすい環境と働き甲斐を届けられる病院でありたいと思っています。

病院長 楠田 司
TSUKASA KUSUTA